

< 家畜防疫対策課 >

水際防疫・地域防疫・農場防疫及び迅速な防疫措置を4本柱として、それぞれの段階で取組を強化し、みやぎの家畜防疫の強靱化に取り組めます。

－ 家畜防疫対策課 －

1 重点目標

- ① みやぎの家畜防疫体制の整備・強化
- ② 獣医師確保対策の強化

2 令和5年度事業の概要

① みやぎの家畜防疫体制の整備・強化

- **家畜防疫体制整備事業（158万円）** **1,052,561千円【防疫指導担当】**
 家畜伝染病の確定診断前に必要な防疫措置の事前準備に係る経費及び豚熱の予防的ワクチン接種に係る経費を措置し、家畜伝染病のまん延防止を図る。
- **みやぎの家畜防疫強靱化事業（159万円）** **71,187千円【防疫指導担当】**
 改正された家畜伝染病予防法に対応するため「みやぎの家畜防疫の4本柱」それぞれの段階で強化を行うことにより、全ての農場における防疫レベルを高い水準に揃える。
- **地域との連携による家畜重要疾病対策強化事業（160万円）** **19,698千円【防疫指導担当】**
 アフリカ豚熱等について、水際防疫の徹底及び野生いのししの監視検査強化により、侵入防止と早期発見を図る。リンパ腫について、地域ぐるみの清浄化対策を推進し、畜産経営の安定化を図る。

② 獣医師確保対策の強化

- **畜産の基盤を支える獣医師の安定確保推進事業（164万円）** **10,462千円【防疫企画担当】**
 全戸巡回指導や農家の大規模化に対応した防疫体制の整備、慢性疾病に対する衛生検査・指導業務の増加など、役割が増大している県職員獣医師の人材確保対策の強化を図る。

家畜防疫対策課	
直通電話番号	0985-26-7139
FAX番号	0985-26-7329
E-mail	shinsei-kachikuboeki@pref.miyazaki.lg.jp

家畜防疫体制整備事業

家畜防疫対策課 1,052,561千円
【財源:国庫、一般財源】

事業の目的

家畜伝染病の確定診断前に必要な防疫措置の事前準備に係る経費、及び豚熱の予防的ワクチン接種等に係る経費を確保し、家畜伝染病のまん延防止を図る。

事業の概要

- (1) 事業内容
 - ① 発生前対策事業
家畜伝染病の確定診断前の事前準備に係る経費
 - ② 初動防疫事業
家畜伝染病の確定診断後の防疫措置に係る経費
 - ③ 豚熱まん延防止対策事業
豚熱ワクチン接種及び野生いのしし検査強化に係る経費
- (2) 事業の仕組み
 - ①②③県

事業の期間

平成24年度～

令和5年度新規・重点事業説明資料

(農政水産部)

事業名	みやぎの家畜防疫強靱化事業	新規・改善・ 既定		課名	家畜防疫対策課
		国庫	県単		
<p>1 事業の目的・背景</p> <p>改正された家畜伝染病予防法に対応した家畜防疫レベルを高位平準化するため、本県における「みやぎの家畜防疫の4本柱」を強化する。</p>					
<p>2 事業の概要</p> <p>(1) 予算額 71,187千円</p> <p>(2) 財源 国庫：55,492千円 一般財源：15,695千円</p> <p>(3) 事業期間 令和3年度～令和5年度</p> <p>(4) 事業主体 (公社) 宮崎県畜産協会、市町村自衛防疫推進協議会、県</p> <p>(5) 事業内容</p> <p>① 水際防疫強靱化事業 1,053千円</p> <p>ア キャンプ場等での畜産物適正処理の啓発 (173千円)</p> <p>イ 水際団体における消毒等防疫対策を支援 (県定額、県1／2以内) (880千円)</p> <p>② 地域防疫強靱化事業 19,012千円</p> <p>ア 防疫措置に必須の家畜防疫システムに係る農場基礎情報の収集 (10,801千円)</p> <p>イ 自衛防疫推進協議会が地域防疫計画に基づき行う防疫活動を支援 (県定額、県1／2以内) (8,211千円)</p> <p>③ 農場防疫強靱化事業 50,673千円</p> <p>ア 厳格化された飼養衛生管理基準の普及と新基準に対応した効果的な農場防疫の検証 (673千円)</p> <p>イ 農場バイオセキュリティ向上を支援 (国1／2以内) (50,000千円)</p> <p>④ 迅速な防疫措置強靱化事業 449千円</p> <p>新たな防疫指針に対応した防疫演習や防疫研修会等の実施</p>					
<p>3 事業効果</p> <p>既存の取組に加え、改正法に対応するよう「みやぎの家畜防疫の4本柱」を強化することで、畜産経営の安定化に資する。</p>					

地域との連携による家畜重要疾病対策強化事業

家畜防疫対策課 19,698千円
【財源:国庫、一般財源】

事業の目的

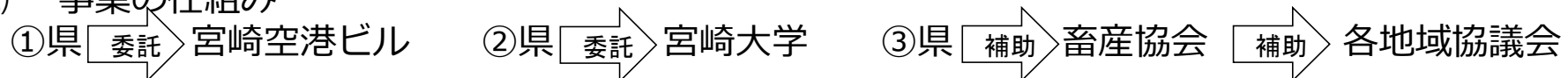
アフリカ豚熱等について、水際防疫の徹底及び野生いのししの監視検査強化により、侵入防止と早期発見を図る。また、牛伝染性リンパ腫について、地域ぐるみの清浄化対策を推進し、畜産経営の安定化を図る。

事業の概要

(1) 事業内容

- ① 水際防疫対策事業
 - ・海外からの玄関口である宮崎空港ビルへの消毒業務委託
- ② 野生いのしし対策事業
 - ・宮崎大学におけるPCR検査、家畜保健衛生所における抗体検査
- ③ 慢性疾病対策事業（補助率 定額）
 - ・地域ぐるみのEBL清浄化に向けた取組支援（民間獣医師等を活用した検査体制への支援）、家畜保健衛生所による清浄化推進のための検査

(2) 事業の仕組み



(3) 成果指標

アフリカ豚熱・豚熱PCR検査頭数 300頭/年

事業の期間

令和5年度～令和7年度

【別紙】 地域との連携による家畜重要疾病対策強化事業

事業内容

成果

アフリカ
豚熱
(ASF)

① 水際防疫対策事業

- 空港での消毒マット等による水際対策



- 県内へのウイルス侵入防止を図り、県内の畜産を守る



豚熱
(CSF)

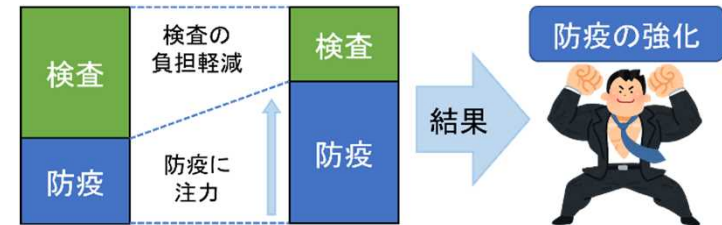
② 野生いのしし対策事業

- PCR検査を宮崎大学に依頼(通年で実施する体制の構築)
- 家保による抗体検査



- 監視体制強化による陽性野生いのししの早期摘発

- 家保の防疫体制強化



牛伝染性
リンパ腫
(EBL)

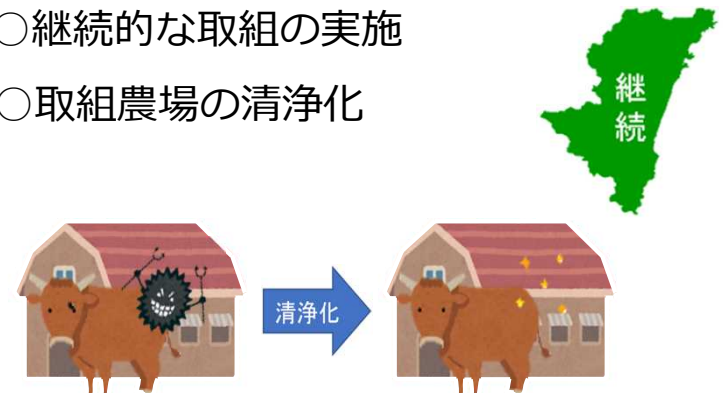
③ 慢性疾病対策事業

- 民間獣医師採材技術料の補助
- 自主検査にかかる検査料の補助
- 地域毎の清浄化段階に応じた取組支援の継続



- 継続的な取組の実施

- 取組農場の清浄化



新 家畜疾病発生低減対策支援事業

家畜防疫対策課 19,750千円
【財源：国庫（臨時交付金）】

事業の目的

飼料等の価格高騰や共済制度の見直し等が農家経営を圧迫する中、家畜疾病等の多発農場に対しコンサルティングを充実することで、繁殖性の向上や子牛等の事故率低減を図り、足腰の強い畜産経営を確立する。

事業の概要

(1) 事業内容

- ① 生産獣医療パッケージ事業（補助率 1 / 2 以内）
 - ・繁殖牛及び搾乳牛の代謝プロファイル検査費用を支援
 - ・豚の消耗性疾病検査費用を支援
 - ・NOSAI獣医師による農場コンサルティング費用を支援

② 推進事務費（補助率 定額）

(2) 事業の仕組み



(3) 成果指標

事業対象となる100農場の事故率の5%低減

事業の期間

令和5年度

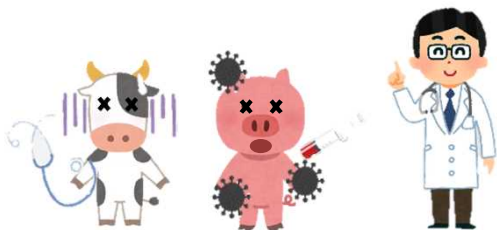
【別紙】 新 家畜疾病発生低減対策支援事業

①生産獣医療パッケージ事業（補助率 1 / 2 以内）

農場コンサルティングの充実（NOSAI獣医師）

疾病多発農場の診察

- 繁殖障害
- 疾病の多発



健康診断

- 牛の代謝プロフィール検査
- 豚の消耗性疾病検査



農場コンサルティング

- 効果的な指導
- 効率的な対策



生産性向上



疾病の低減

畜産経営の安定化



繁殖
成績



診療
回数



畜産経営

令和5年度新規・重点事業説明資料

(農政水産部)

事業名 畜産の基盤を支える獣医師の安定確保推進事業	新規・改善・ 既定	課名 家畜防疫対策課
	国庫・ 県単	

1 事業の目的・背景

特定家畜伝染病防疫指針に基づく全戸巡回指導や農家の大規模化に対応した防疫体制の整備、慢性疾病に対する衛生検査・指導業務の増加など、県職員獣医師の役割が増大しているため、家畜防疫レベルの高位平準化に向けた人財確保対策を強化する。

2 事業の概要

(1) 予算額 10,462千円

(2) 財源 一般財源：10,462千円
(口蹄疫復興基金：10,462千円)

(3) 事業期間 令和3年度～令和5年度

(4) 事業主体 (公社) 宮崎県畜産協会、宮崎県獣医師確保推進協議会、県

(5) 事業内容

① 安定確保対策事業 (定額) 5,602千円

ア 獣医系大学生向けPR

・ 獣医系大学就職説明会への参加

・ 獣医系大学への出張講義

イ 県内高校生向けPR

・ 獣医師職業ガイダンス

ウ 既卒者向けPR

・ 求人サイト等への求人情報掲載

エ インターネットの受入れ

オ 若手職員のスキルアップ

② 修学資金給付事業 (1/2以内) 4,860千円

獣医系大学生への修学資金の給付

(国公立：月額10万円以内、私立：月額18万円以内)

3 事業効果

本県公務員獣医師の安定確保により、本県における家畜防疫レベルの高位平準化の維持が図られる。